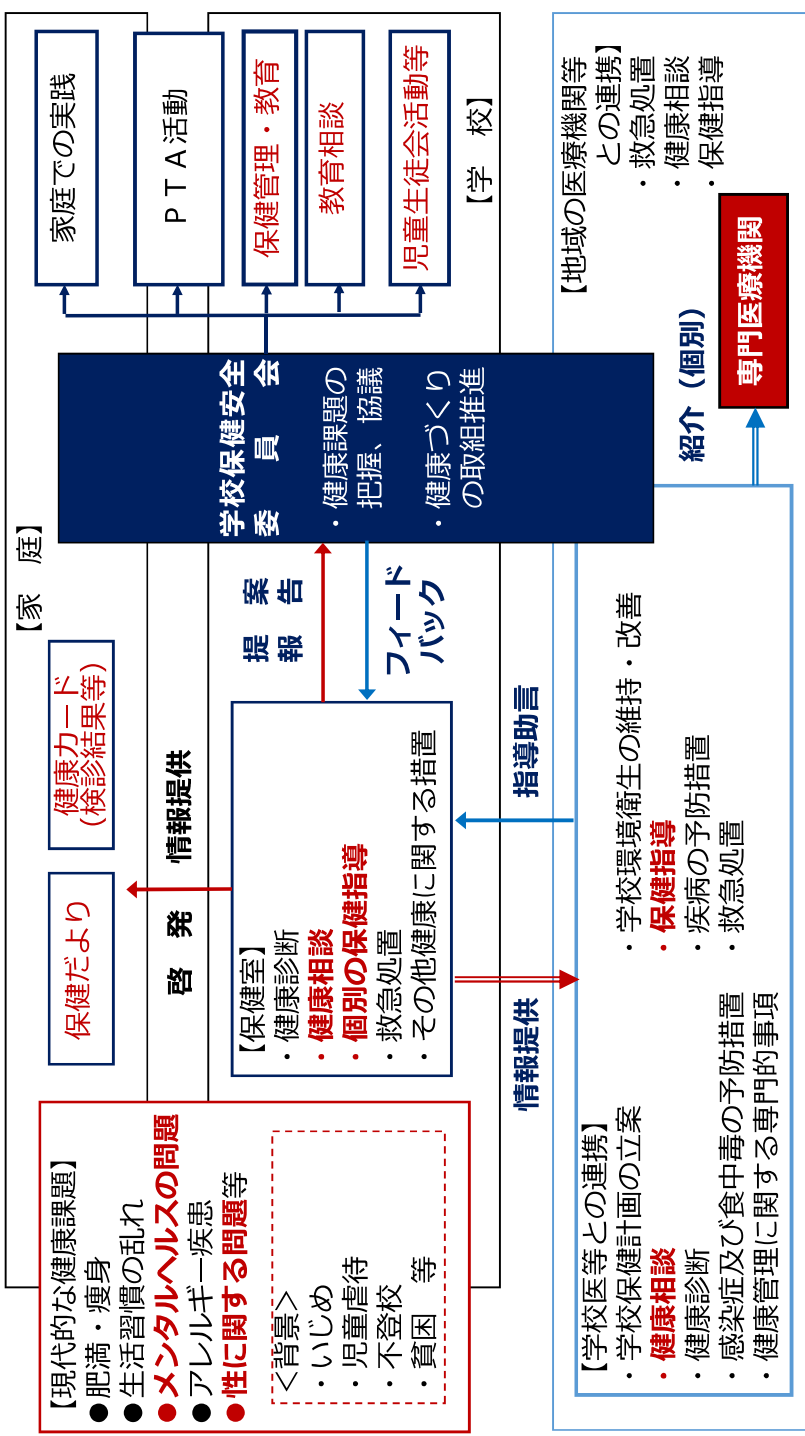


性の多様性・心の健康に係る学校保健安全委員会の活用モデル

資料③

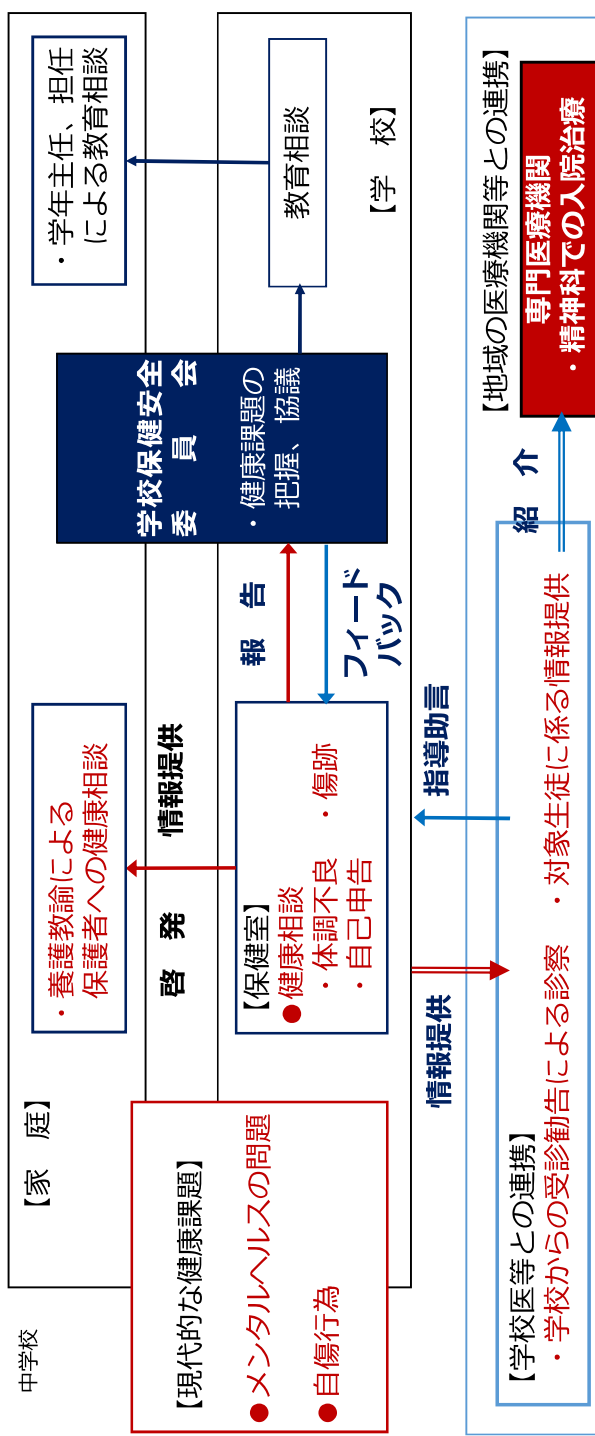


○学校保健安全委員会において、心理的ストレスや悩み、いじめ、不登校、精神疾患などメンタルヘルスに関する課題、性に関する問題等、児童生徒の心身の健康問題の状況等を報告、学校医等との協議により問題の背景を把握したうえで、保健指導や健康相談へのフィードバック、カウンセリング等の教育相談等の取組につなぐ。

○問題の把握により医療的見地からの対応が必要な個別のケースについては、学校医による健康相談から、地域の医療機関や専門医療機関の受診・治療につなぐ。

学校保健安全委員会活用モデル実践①

資料④



<学校保健安全委員会における協議事項>

- 自傷行為を行う背景には、医療機関を受診するような精神状態の生徒が多く、医療機関受診とカウンセリング利用の見極めが難しい。
- メンタルヘルスの問題は、保護者の意向によっては医療的措置につなげていくことが困難。

<学校三師からの指導助言>

- 心の問題は、待ったなしの対応が多い。メンタルで受診する子の家庭は複雑。学校だけで対応するのは難しい。家庭で話を聞いてもらっているか心配。
- 話を聞く窓口になることはできる。また、小児科を窓口にした場合はよいが、一番は普救がかったりいる病院へ行く入院ができる精神科の病院は待ったなしの場合だけ、必要であれば大病院につないでもらえること。地域のクリニックは直ぐに員いたただけ、必要であれば大病院につないでもらえる。小児の範疇を超えていければ精神につなぐ。小児は窓口になれるため、困ったら頼っていただければ力になる。

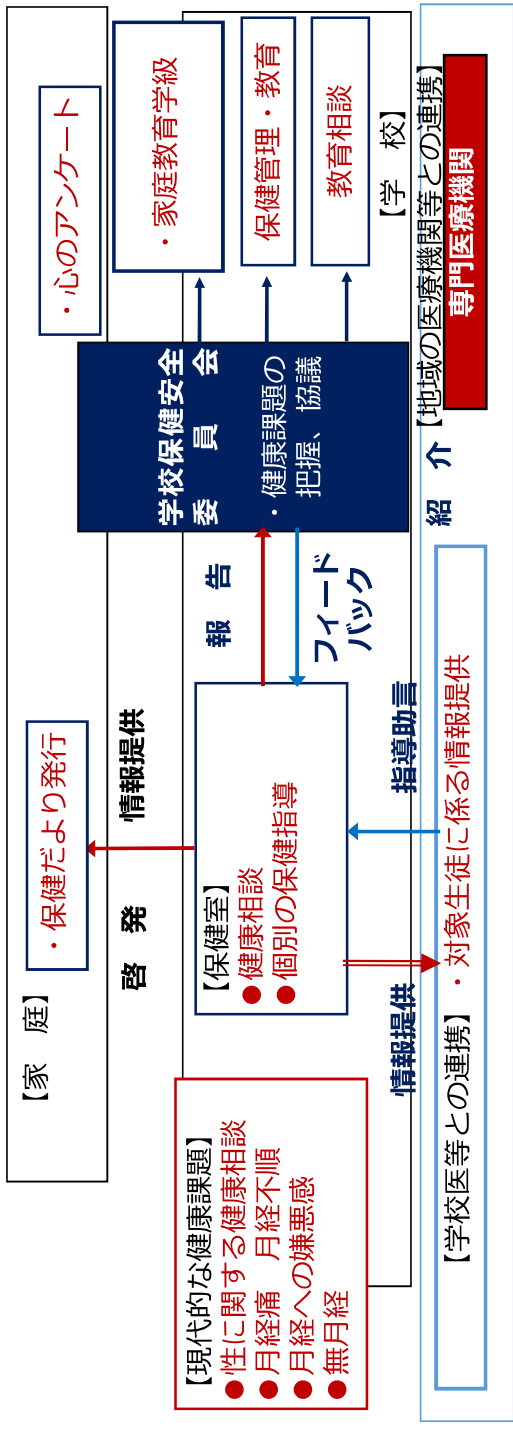
小学校

<学校三師からの指導助言>

- 抜毛癖のある児童については、SCとのカウンセリング、心療内科などの医療を紹介するとよい。
- 特に理由がないのに学校に行けないというのは、一度医療機関を紹介してもいいと思う。不登校児童をかかえる保護者の負担は相当なものなので、保護者を楽にしてあげるといい意味で、医療機関を勧めてみていいかもしれない。

学校保健安全委員会活用モデル実践②

資料⑤



中学校

<学校三師からの指導助言> 1回目

- ・医薬品の服用を勧めるとよい。
- ・全体指導ではなく個別に対処する必要があるので、薬を服用することで効果が得られるため、薬を服用することと薬になるのであれば薬は服用するとよい。
- ・薬は合う・合わないがある場合もある。薬剤師に相談するとよい。

<学校三師からの指導助言> 2回目

- ・薬の効きは1回・2回で判断しないほうがいい。何回か使用し、効いていなければ医療機関を受診し、相談するとよい。
- ・15歳までに初経が来ない場合は、産婦人科を勧めるとよい。対応はそれだけでよい。
- ・小児科を窓口で産婦人科に繋ぐことができる。
- ・性に関する課題は学校の女性の先生が経験を踏まえて話をすることがよい。

<学校保健安全委員会からのフィードバックによる取組事項>

- 性に關する全体計画を立案し、性に関する指導が系統的に行われるようにする。
- 家庭への情報提供 学校医や学校薬剤師の指導内容を保健だよりに掲載する。
- 予期しない妊娠や婦人科疾患で心配がある生徒がいる際は、学校医から地域の医療機関や専門医療機関を紹介していただけたことになった。

紹介

【学校医等との連携】・対象生徒に係る情報提供

中学校

<学校三師からの指導助言>

- ・月経については婦人科受診で解決しているが、根本的な解決法になっていないかどうかが疑問。今後のことを考えて性と性同一性障害を扱っている専門医に相談することが良い。
- ・生徒が何を思い、どうしたいのかが理解、把握し分析することが大切。
- ・PFA家庭教育学級講演会は大切な企画だ。
- ・子宮は妊娠・出産だけの器官だけではなく身体のバランスに不可欠なホルモンに関わる臓器だと知ってほしい。
- ・ピルは現在、医療機関の処方しか手に入らないので、月経が非常に苦になるような場合は保護者との話し合いの上で医療機関への受診を勧めるとよい。

D小学校における性に関する指導

性に関する指導の目標

- ・体のしくみを知り、生命を尊重し、自己共に大切にしてできる子の育成
- ・めざましい児童の姿
- ・体と心の発達、発達や変化を知り、自らを肯定的にとらえることができる児童
- ・体や命の大切さに気づき、互いの人格を尊重し、豊かな人間関係を築くことができる児童
- ・家庭や社会集団の一員として生活する中で、性に対して適切な判断や対処ができる児童

学年	学習内容
1年	<p>体ぎきれいにきれいなからだ</p> <p>男の子と女の子の体のちがいがわたしたちのからだ</p> <p>男の子と女の子の体の違いを知り、自分や周りの人の体に關心をもち、大切にしようとする態度を身に付けることができるようにする。</p> <p>おへそそのひみつ</p> <p>へそ役を通して、自分たちはお母さんのおなかの中で大切に育てられたことを理解し、生命を大切にしようとする気持ちを持つ。資料を大切にしようとする。『あかちゃんはどこからくるの』（保健室に保管）</p>
2年	<p>私のたんじょうのちのつながり（いのちのまつり～ヌチヌチ～）</p> <p>母や父の赤ちゃんの誕生まで自分や自分の命を大切にしようとする気持ちを持つ。資料を大切にしようとする。『あかちゃんはどこからくるの』（保健室に保管）</p>
3年	<p>男らしい色？女らしい色？</p> <p>男らしい色や女らしい色など、多様な生き方があることを理解し、誰とも認め合う心を育てる。</p>
4年	<p>大人の近くについていく体（外開の変化、内開の変化）</p> <p>思春期の体の変化について正しく理解し、男の子の体の発育に性差が現れることを理解する。</p>
5年	<p>人のたんじょうについて知ろう</p> <p>父の生母のたんじょうと母体内での胎児の成長について理解し、自分を大切に育てていくことが大切であることを理解し、自分も大切に育てようとする。</p>
6年	<p>多様な性について知ろう</p> <p>男性と女性だけでなく多様な性や生き方があることを理解し、たれとも認め合う心を育てる。</p>

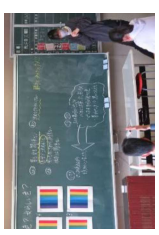
資料⑥

◆3年生「男らしい色？女らしい色？」

ねらい：思い込みや偏見にとらわれず、他の人の尊重する姿勢を学びながら、多様性を受け入れ、自分らしきあることの大切さを知る。

資料：DVD「はじめて学ぶ、LGBTsの男らしい色？女らしい色？」

男らしい色や女らしい色などは、自分で決めればよい。勝手に人のことを決めてはいけない。



分かったことは、男は何色かとは、その人が決めることだから決めてはいけない。男がピンクをすすきで人も人それぞれだから笑ってはいけない。



◆6年生「多様な性について知ろう」

ねらい：男性と女性だけでなく、多様な生き方があることを理解し、誰とも認め合う心を育てる。

・男らしさや女らしさなど関係ないことがわかった。・自分を好きになることが大切だとわかった。・男女の問題でいじめられている子がいたら積極的に助けたい。



どんな子が落としたと思いますか？

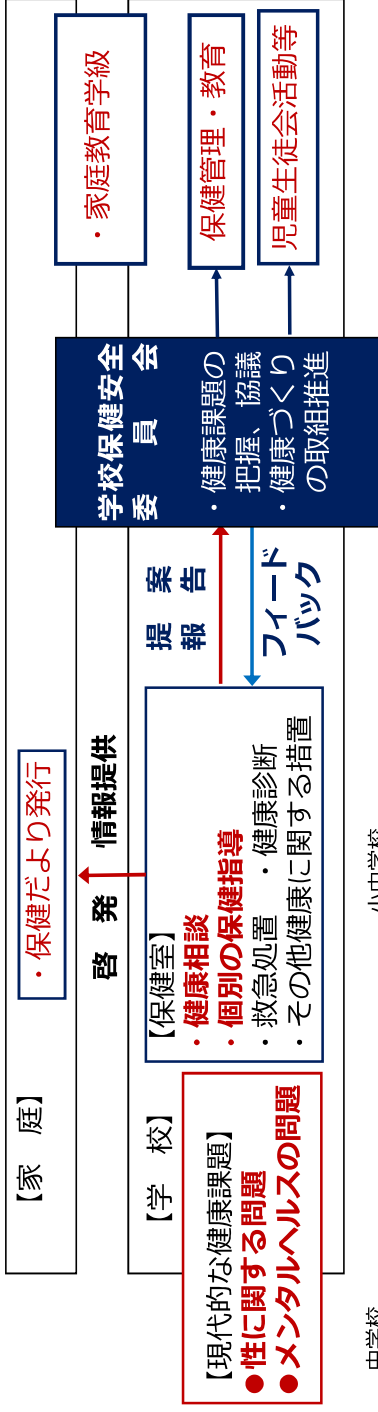
自分が大人とかになっても、LGBTQの人とかに会っても、一人の人間として接し、偏見・差別は絶対にしてほしくない。

その人らしさ

- 力強い 可愛い
- 体力がある 手先が器用
- かっこいい センズがある

学校保健安全委員会の活用モデル実践⑥

資料①



中学校

<学校三師からの指導助言>
・制服の変更は、多様性にあわせて個人を尊重でき、自己主張ができてよい。**校則も見直し**、変える時期が来ている。
・性の多様性に関わる指導を、**学校保健年間計画に位置付け、継続した指導**をしていく。

小中学校

<学校三師からの指導助言>
・情報が広がっているが、間違ったことではなく正しいことを拾えるようにしていく。講師を招いて正しい知識を教えたばかりでなく、授業で講演の内容を拾った昔はもっと性感染症のことを教えてもらっていた。**危険性を教えていく**必要がある。**・生理や頭痛の時に相談できる環境を作ったり、専門家に相談**できることを伝えてほしい。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・各教科や特別活動との関連を図った**指導**をするために、内容を整理し、**全教職員で共通理解を図って指導**にあたる。
・発達の段階を踏まえ、実態に応じた指導を、保育園、小学校、**中学校12年間を見通して実施**できよう計画的に行う。
□ 個別の健康相談
□ 心身の発達には個人差があるので、**集団で教えるべき内容と個別で教えるべき内容を明確にして、必要に応じて個別に健康相談を実施する。**
□ 家庭との連携
□ 保護者は学校に性教育をまかせている。**学校だけで取り組むのではなく、保健だよりや保護者向けの講話等を考え、家庭との連携を推進する。**

中学校

<PTAからの意見>
・**命の教育や性に関する指導は今後も継続して行ってほしい。** 親としては子供が正しい知識を持つてくれることはありがたいと思う。

学校保健安全委員会の活用モデル実践⑦

資料②



小学校

<学校三師からの指導助言>
・**保健室来室者の聞き取りシートに「ころのようす」の欄**があることは大変よい。ぜひ家庭にフィードバックしてほしい。
・同じ理由で数日欠席する児童について、**心因性の心配**があるかもしれない。特に月曜日の腹痛などはフオロローが必要な可能性もある。家で元気で学校で不調を訴えることがある場合は、周りが気を付けてあげるとよい。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・**保健室来室者の聞き取りシートに「ころのようす」の欄**があることは大変よい。ぜひ家庭にフィードバックしてほしい。
・同じ理由で数日欠席する児童について、**心因性の心配**があるかもしれない。特に月曜日の腹痛などはフオロローが必要な可能性もある。家で元気で学校で不調を訴えることがある場合は、周りが気を付けてあげるとよい。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

小学校

<PTAからの意見>
・**命の教育や性に関する指導は今後も継続して行ってほしい。** 親としては子供が正しい知識を持つてくれることはありがたいと思う。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

小学校

<学校三師からの指導助言> 令和4年度
・いじめ問題などは、「おしえてねアンケート」のようなもので、子どもも教えてもらわれないとわからないことがある。**定期的に取り子どもの声を聞くことが大切**だと思う。
・保健室などに負担が偏らないように、**子どもたちがいつでも相談できる人を増やす**ことも必要ではないか。
<PTAよりご意見>
・学校で指導したことを保護者にも伝えてほしい。**情報共有して、学校と家庭との指導にずれがないようにしていく必要がある。**

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

小学校

<学校三師からの指導助言> 令和5年度
・**SOSの出し方教育やおしえてねアンケートをこのように、小学校でも行える**ことは素晴らしい。発達段階によって、アンケートは記名・無記名が難しいところだが、**小学校のうちには記名をして行い、すぐに対応していき**るようにするとよい。**結果を受けつけて解決すべきことをはすぐに動かなければならぬ**が、長い目で見て、これだけいろいろ抱えているということは、**家庭環境なのか、生活環境なのか、原因を探っていく必要がある。**

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

小学校

<学校三師からの指導助言>
・身近にLGBTQに係る事例は見られる。
・「着替えをするのは嫌」という事例は、**発育家庭における性の目覚めのサインなのか、LGBTQに起因する者なのか、見極める必要がある。見極める際には、決めつけるのではなく、多面的に見て判断していくべき**である。
・LGBTQに関して、どのように気付けなければよいか。**高学年対象に講演**を行うなどして、LGBTQに関する知識を広めたり、**保護者へのアンケート**を実施したりしてはどうか。

<学校保健安全委員会からのフィードバックによる取組>
□ **おしえてねアンケートに「からだ・性について」を問う項目を付け加え、相談しやすい環境を整えていく。**